

ヒメジのヒゲ

ヒメジの仲間は、口の下によく目立つヒゲをもっています。

このヒゲは餌を探す時に役立ちます。

ヒメジの仲間は、口の下に2本のヒゲをもった、ユーモラスな姿をしています。そのため、中にはオキナヒメジ(翁^{おきな}ヒメジ)やオジサンといった、ヒゲにちなんだ名前が付けられた種もあります。

しかし、このヒゲは飾り^{かざ}ではなく、ヒメジにとってなくてはならないものです。なぜなら、彼らはこのヒゲを使って餌を探すからです。

ヒメジの仲間は、海底を泳ぎ回りながら、砂の中^{かく}に隠れているエビ・カニやゴカイなどの小さな生き物を見つけて食べます。このときこのヒゲが役に立ちます。というのは、ヒゲの表面には、味^{みらい}蓄^{した}(舌の表面にある、味を感じる感覚器^{かんかくき})に似た構造があり、このヒゲで味を感じる事ができるので、ヒゲを使って砂の中の「おいしい食べ物」を探ることができるからです。ですから、彼らが餌を探しているときは、ヒゲをさかんに動かしながら海底を泳ぎ回っています。

ヒメジの仲間

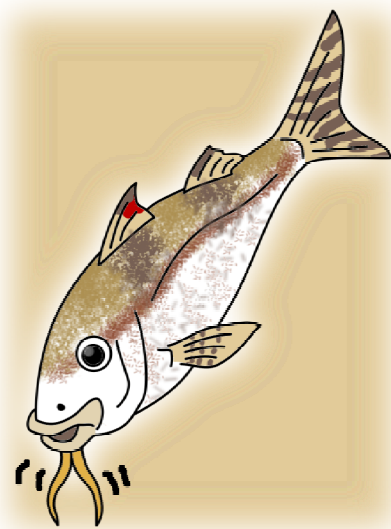


オキナヒメジ(幼魚)



ヨメヒメジ

ヒメジの仲間は、日本近海では約20種が知られており、すべて口の下に2本のヒゲを持っている



砂の中に住んでいるエビ・カニやゴカイなどを食べるが、これらの餌をさがす時にヒゲを使う
ヒゲは人間の舌のような機能を持ち、砂の中の餌を見つけることができる